

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム ジョイフル	階数	地上 3F
建設地	江南市	構造	RC造
用途地域	用途地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	104 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2015年6月8日
敷地面積	1,487.64 m <sup>2</sup>	作成者	今西良一
建築面積	826.09 m <sup>2</sup>	確認日	2015年6月10日
延床面積	2,115.92 m <sup>2</sup>	確認者	NUD建築事務所 横井洋二



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 96%

③上記+②以外の 81%

④上記+ 81%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

### 3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.7</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.0</p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td> <td>10.7 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td> <td>7.3 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	10.7 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	7.3 %
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	10.7 %				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	7.3 %				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.1</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出  
④地域材の活用  
Q-3 2 まちなみ・景観の配慮 4)地域性のある素材による良好な景観形成

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				
配慮項目	県独自基準	重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
				評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>								
<b>1.1 騒音</b>				3.4	0.15	2.8	1.00	3.3
1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	0.40	
2 設備騒音対策				3.0	1.00	3.0	1.00	
<b>1.2 遮音</b>				4.2	0.40	3.6	0.40	
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				5.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	5.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	4.0	0.20	
<b>1.3 吸音</b>				3.0	0.20	1.0	0.20	
<b>2 温熱環境</b>				2.6	0.35	2.4	1.00	2.5
<b>2.1 室温制御</b>				3.5	0.50	3.0	0.50	
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57	
2 設備変動・過渡制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能				5.0	0.25	3.0	0.43	
4 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間帯空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>				3.0	0.20	3.0	0.20	
<b>2.3 空調方式</b>				1.0	0.30	1.0	0.30	
<b>3 光・視環境</b>				2.8	0.25	3.6	1.00	3.0
<b>3.1 昼光利用</b>				3.6	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率				4.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40	
<b>3.2 グレア対策</b>				2.0	0.30	4.0	0.30	
1 照度器具のグレア				-	-	-	-	
2 昼光制御				2.0	1.00	4.0	1.00	
3 映り込み対策				-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>				3.0	0.15	3.0	0.15	
<b>3.4 照明制御</b>				3.0	0.25	3.0	0.25	
<b>4 空気環境</b>				4.0	0.25	4.3	1.00	4.1
<b>4.1 発生源対策</b>				4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質				4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 ダムカビ等				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>				3.5	0.30	5.0	0.38	
1 換気量				4.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能				-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	5.0	0.33	
4 給気計画				-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>				5.0	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御				5.0	1.00	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	3.2
<b>1 機能性</b>				2.4	0.40	3.8	1.00	2.7
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性				-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応				3.0	1.00	-	-	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>				1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観				-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50	
<b>1.3 維持管理</b>				3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				3.6	0.31	-	-	3.6
<b>2.1 耐震・免震</b>				3.8	0.48	-	-	
1 耐震性				4.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				3.6	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				5.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				4.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				5.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性					3.6	0.19			
1	空調・換気設備				3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備				4.0	0.20			
3	電気設備				4.0	0.20			
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20			
5	通信・情報設備				4.0	0.20			
3 対応性・更新性					3.4	0.29	3.0	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり					4.6	0.31	3.0	0.50	
1	階高のゆとり			(共)3.9m≦基準階階高:4.0m	5.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			(共)0.1≦壁長さ比率=0.24<0.3 (宿)壁長さ比率=0.38	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					2.8	0.38			
1	空調配管の更新性				3.0	0.17			
2	給排水管の更新性				2.0	0.17			
3	電気配線の更新性				3.0	0.11			
4	通信配線の更新性				3.0	0.11			
5	設備機器の更新性				3.0	0.22			
6	バックアップスペース				3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出		●	③		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		●	④		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		●	④		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.6
1 建物の熱負荷抑制				BPI <sub>m</sub> =0.77	4.0	0.30	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用					3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用					3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化				LED照明、高効率エアコンの採用	4.0	0.30	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)					4.0				
集合住宅の評価					3.0				
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング					3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制					3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護					3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水				節水コマ+省水型機器	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					2.9	0.63	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		●	②		1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組		●		解体時に分別しやすいボード下地構成+ユニットフロア	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.6	0.22	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					4.0	0.68	-	-	
1 消火剤					-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				ノンフロン発泡断熱材の採用	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒					3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			①	ライフサイクルCO2排出率=92%	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮					2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		●			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		●			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制					2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	
1 騒音		●			3.0	1.00	-	-	
2 振動		●			-	-	-	-	
3 悪臭					-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制					-	-	-	-	
3 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制					3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	-	

**重点項目スコアシート**

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEEあいち評価マニュアル2011年度

(仮称)特別養護老人ホーム ジョイフル布袋

■評価ソフト:

CASBEE-NCb\_2011 (bpi&bei) v.1.7\_aichi

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.7</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.7	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.1</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.6	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.9	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>2.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
<b>④ 地域材の活用</b>				<b>1.0</b>
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称) 特別養護老人ホーム

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 省エネルギーや耐久性を考慮して、地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和に努めている。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 断熱性能の高い外壁材の使用、屋根裏の断熱材設置等により空調負荷の低減に努めている。化学汚染物質にも配慮している。
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 耐用年数の永い配管配線材料を採用し、ライフラインである水・電気・通信などの防災対策に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 敷地周囲に緑地を効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 高効率エアコン、LED照明の採用で設備システムの高効率化を図っている。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 節水器具や省水型機器を採用し、水資源の保護に努めている。分別が容易な施工方法の採用により、資源の大量消費を防ぐようにしている。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ライフサイクルCO2を削減し、地球温暖化防止を図っている。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。